

JR東日本グループ「ゼロカーボン・チャレンジ2050」達成に向けて 電力融通プラットフォームを活用した太陽光発電 の利用効率向上の実証実験を開始

2021年2月15日（月）からJR平泉駅にて

JR東日本の子会社でベンチャーへの出資や協業を推進するCVCのJR東日本スタートアップ株式会社（以下、JR東日本スタートアップ 代表取締役社長：柴田 裕）と、エネルギー/環境/経済の視点で新事業創出を目指すコンサルティング会社のelDesign株式会社（以下、elDesign 代表取締役社長：坂越 健一）は、2021年2月15日から、JR平泉駅にて電力融通プラットフォームを活用した太陽光発電の利用効率向上の実証実験を開始します。

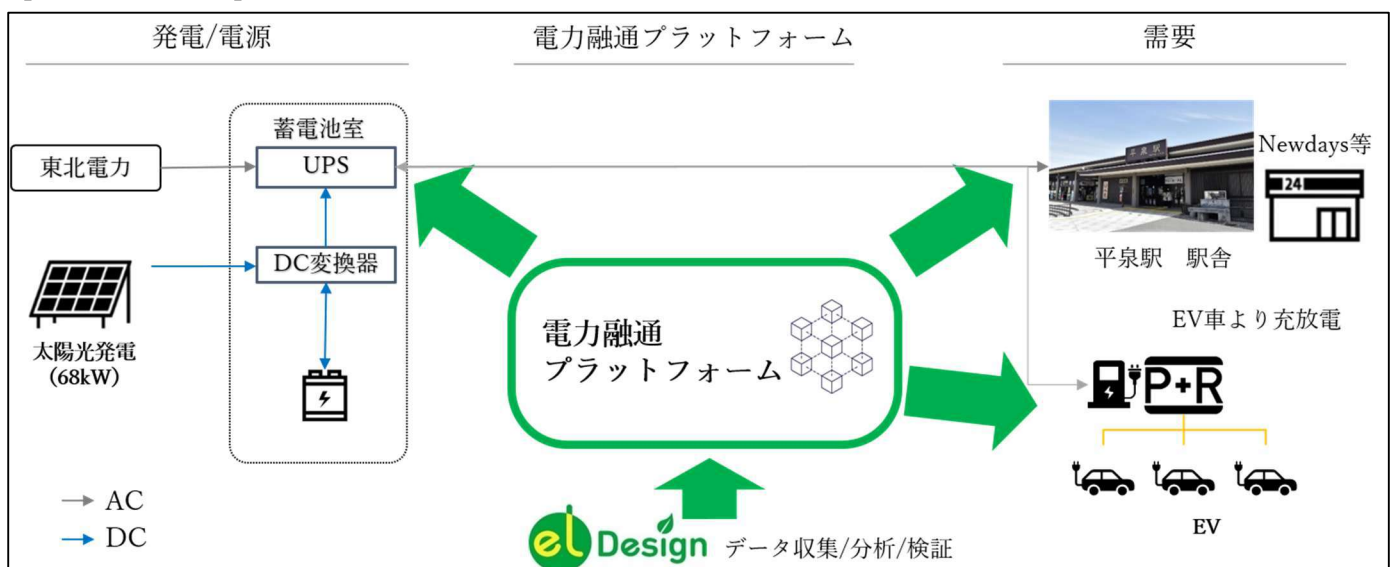
JR平泉駅は2012年6月より、省エネルギー、再生可能エネルギーなど、さまざまな環境保全技術を駅に導入する取り組みを行う「エコステ」のモデル駅として、太陽光発電と蓄電池を組み合わせることにより、晴天日においては、駅電力使用量をすべて賄いCO2排出量をゼロにする「ゼロエミッションステーション」に取り組んでいます。しかし、蓄電池の充放電ロスや、パワーコンディショナーの動作などの要因から、再生可能エネルギー（太陽光）の発電量とその消費量に差分が生じており、未だ晴天日においても東北電力から一部買電を行なっています。

そこで、本実証実験では、新たに電力構成にEV充電ステーションを加え、かつ、電力融通プラットフォームを通じて再エネの“蓄電”と“利用”を適切にコントロールすることで、太陽光発電の利用効率向上を図ることとしました。

JR東日本は、グループ経営ビジョン「変革2027」において、「ESG経営の実践」を経営の柱として掲げ、2050年度の鉄道事業におけるCO₂排出量「実質ゼロ」を目指す環境長期目標「ゼロカーボン・チャレンジ2050」を2020年5月に公表しました。

本実証を通じて、駅舎を中心とした「ゼロカーボン・チャレンジ2050」達成を図っていきます。

【実証実験構成図】



【実施概要】

■実験日:2月15日(月)～3月15日(月)

■場所:JR 平泉駅

■内容:電力融通プラットフォームを活用した太陽光発電の利用効率向上の実証

【JR 東日本スタートアッププログラム】とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017年度に初めて開催し、今回までに合計81件の提案を採択、鉄道事業やIT事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取り組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の2018年度第1回オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞しました。

■各社概要

JR 東日本スタートアップ

所在地：東京都港区高輪 2-21-42 Tokyo Yard Building

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

設立：2018年2月

事業内容：事業シーズや先端技術の調査・発掘、ベンチャー企業への出資及びJR 東日本グループとの協業推進

URL：<https://jrestartup.co.jp/>

eIDesign

所在地：東京都港区白金 1-27-6 白金高輪ステーションビル 4階

代表者：代表取締役社長 坂越 健一

設立：2014年7月

事業内容：コンサルティング事業、地域活性化支援事業

URL：<https://eldesign.jp/>